

学校の適正規模・適正配置に向けた今後の対応について

令和 2 年 12 月 17 日

三郷市教育委員会

教育委員会では、「三郷市立小・中学校教育環境整備計画(令和2年3月)」に基づき、学校の適正規模・適正配置について、三郷市立小・中学校通学区域編成審議会へ諮問した。

審議の中では、小規模校を統合する場合の課題のほか、学校選択制のあり方や小中一貫校の可能性などを含め、さまざまな意見を頂いた。

その結果、特に、全ての学年でクラス替えができない学校がある地域において、小規模化の解消に向け、早期に学校統合等の検討に着手するべきであるという答申を受け、今後の対応を次のとおり定める。

1. 小規模校の解消

喫緊の課題として、前間小学校及び後谷小学校のある地域については、早期に学校統合等の検討に着手する。その際、通学区域が接している丹後小学校のある地域も含めて検討する。

次に検討すべき地域とされた吹上小学校及び前谷小学校のある地域については、今後の児童数及び学級数の状況により、検討開始時期を決定する。

2. 留意事項について

学校統合等にあたっては、それぞれの地域における特性を把握し、小中一貫校や義務教育学校の可能性も検討する。

また、学校選択制の制度のあり方についても検討する。